

もし、新潟豪雨が日野川流域で発生したら

～ 今回7月の新潟梅雨前線豪雨は、昭和47年7月の
中国地方で未曾有の大被害をもたらした
梅雨期の豪雨を上回るものでした～

近年の異常気象により、全国各地において記録的な集中豪雨に見舞われ被害が多発しております。記憶にも新しい7月の新潟豪雨でもこれまで経験のなかった規模の豪雨により甚大な被害をもたらされました。

日野川流域においては、平成時代に入ってから、幸いなことに大きな水害を被ることなく今日に至っております。

しかしながら、近年の異常気象下では、今回のような新潟で発生した豪雨がいつどこで起こってもおかしくありません。

そこで日野川河川事務所では、新潟豪雨が日野川流域で発生したと想定し、その時にどのような出水になるのかを試算しました。

今回、水害の危険性を再認識していただくために試算の結果を公表いたします。

資料提供先 : **米子市政記者クラブ**

問い合わせ等

国土交通省日野川河川事務所

(技)副所長

まつざき

松崎 (内線204)

調査設計課長

いのうえ

井上 (内線351)

電話番号 0859-27-5484

～もし、新潟豪雨が日野川流域で発生したら～

今回7月の新潟梅雨前線豪雨は、昭和47年7月の中国地方で未曾有の大被害をもたらした梅雨期の豪雨を上回るものでした。

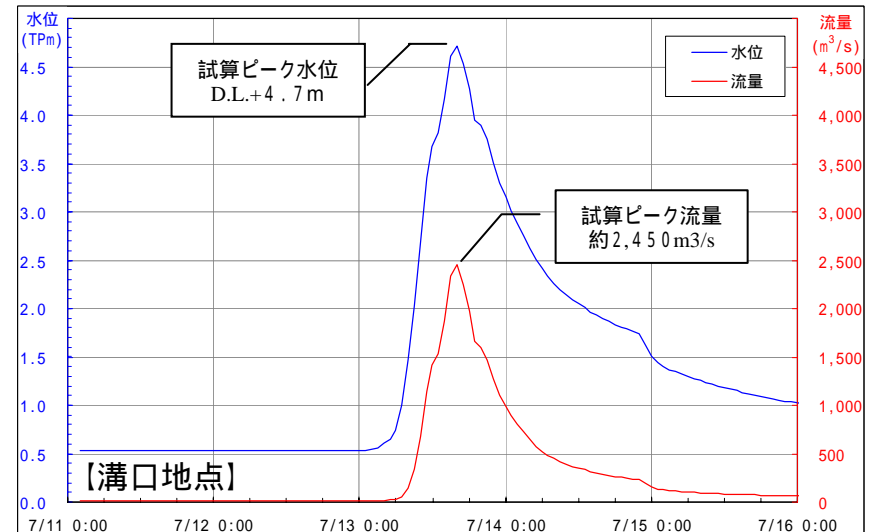
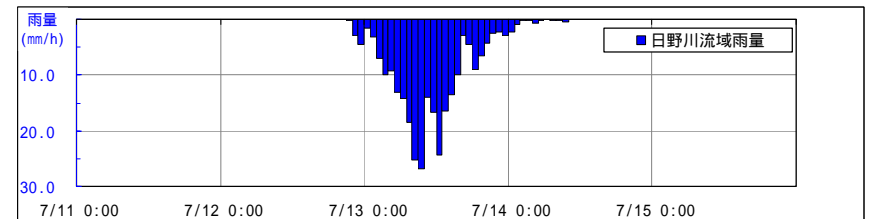


戦後昭和47年につぐ出水、平成10年10月の溝口町(参考)

【試算条件】

信濃川下流流域(約1,410km²)の平均雨量を日野川流域(約870km²)に以下の条件で当てはめて試算を実施。

- ・降雨量の時間変化: 信濃川下流流域の平均雨量をもとに算定
- ・雨の降り方: 昭和47年7月洪水時の日野川流域での降雨分布を想定



なお、この計算結果は、速報値データを基に試算したものであり、今後の調査により数値が変わることがあります。

溝口水位観測所付近

(溝口町鬼守橋下流付近)

新潟豪雨試算値
水位 4.7m
流量 2450m³/s

